

(地中熱)を活用した再生エネルギー事業の取り組みを視察し、国産バナナ「綺麗」のご試食をされました。里見政務官から、広野町のチャレンジが地球温暖化防止、省エネの推進につながることを期待するとのお言葉を頂きました。

9月3日と6日、町の魅力発信やイベントへの参加などを行う「広野夢大使」に尾田栄章様、岬花江様を任命しました。広野夢大使は、福島県や町にゆかりのある人、東日本大震災からの復興に尽力する人などを任命しており、今後、町の情報発信などで復興を後押ししていきます。

### 町民税務課

マイナンバーカード普及促進事業は、申請やマイナンバー受付等の機会を増やすため、毎月2回日曜日の役場開庁、高齢者宅訪問に加え、申請業務委託によりスタッフを増員し対応しています。

これまで、マイナンバーカードの発行に関しては、総務省において「交付件数」「交付率」として公表してまいりましたが、この数値にはすでに亡くなっている方も含まれ実態に合わないことから、7月より現在有効なマイナンバーカードのみを対象とする「保有枚数」、「保有枚数率」と名称を変更しました。

総務省発表による令和5年8月31日現在、本町におけるマイナンバーカードの保有枚数は3,731枚であり、保有枚数率は79.9%、県平均は72.4%、全国平均は71.7%となっています。

### 健康福祉課

7月4日から8日までの5日間、3密を防ぐために検診会場を町中央体育館とし、待機中の座席間隔を十分にとり、総合検診を実施しました。受診者数は、国保特定健康診査407人、後期高齢者健康診査244人、社保被扶養者特定健康診査51人、その他の検診16人、合計718人でした。

受診されなかった方の受診機会として8月27日、日曜日

に検診日と設けるとともに、国保特定健康診査の未受診者に対して受診勧奨通知を行いました。

また、女性特有の疾病である「乳がん・子宮がん」の早期発見・早期治療を図るため、7月1日から10月31日の期間、乳がん検診・子宮がん検診について検診日・検診場所を設定し、広野町保健センター又はいわき市の医療機関において実施しています。

9月6日、令和5年度広野町敬老会を町中央体育館において開催し、結婚50周年を迎えられた10組のご夫妻へ福島民報社とともに結婚夫婦表彰を行い、最高齢者および満85歳以上の高齢者に対して記念品の贈呈を行いました。余興として「歌と踊りの祭典」を開催し、来場された高齢者の



広野町敬老会

皆様は、楽しい一時を過ごされました。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種につきまして、5歳以上のすべての方約4,500名を対象とした令和5年秋開始接種は、高齢者と基礎疾患を持つ方は、9月20日から馬場医院での個別接種、12歳以上65歳未満の接種希望の方は、保健センターでの集団接種、5歳以上11歳未満の方はふたば医療センターでの実施に向け準備を進め、円滑なワクチン接種に取り組んでいます。

### こども家庭課

6月16日、保育・給食参観を開催しました。当日は、保育参観の前に3歳から5歳児保護者を対象に、相双保健福祉事務所・歯科衛生士による「フッ化物洗口事業」、わくわくネットいわきによる「小学校入学までに親として知ってほしいことについて」の説明会を併せて実施しました。

7月7日、こども園の3歳から5歳児を対象に、劇団飛行船によるアリオスでの演劇観賞に参加しました。園児た

ちは、大きな会場で演じられる2つの劇を最後まで真剣に鑑賞していました。



児童館夏祭り

8月10日、こども園の3歳から5歳児を対象に、田村市ムシムシランドでの体験見学会を開催しました。園児たちは、昆虫館で世界の貴重な生きた昆虫を見学し、カブトムシドームでは自然の中で実際にカブトムシに触れるなど、

貴重な体験をしました。この体験見学会は、次年度以降も継続的に開催することを予定しています。

### 環境防災課

9月1日現在、こども園、児童館の在籍者は、こども園94人、児童館64人となっています。



夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動出発式

6月21日、7月21日、広野町安心・安全ネットワーク会議立哨活動を国道6号役場前交差点等で実施し、ドライバーに安全運転への注意喚起を促しました。7月21日、広野町安心・安全ネットワーク会議を開催し、交通事故防止対策、熱中症予防、ごみの分別について会員企業に協力を求めました。

7月14日、双葉警察署の「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動出発式」が、広野町中央体育館で行われました。出勤式には、交通関係団体を始め、地元企業、広野小学校の1・2年生が参加して運動期間中の無事故を誓い合いました。福島県警察音楽隊による演奏も行われ、参加者した小学生たちも楽しく交通安全を学び

8月16日、町内の河川と海岸の環境を守るため、盆送り供物の回収を行いました。役場敷地内に焼香台と供物置場を設置し、早朝より多くの方々に活用いただき、供物約450個、重さにして410キログラム回収しました。

9月10日、第70回福島県消防協会双葉支部幹部大会が広野町中央体育館で開催されました。大会には、双葉地方の消防団幹部団員及び婦人消防隊員、約300名が参加し、永年の消防功労者に対する表彰、並びに国県等表彰、日本消防協会、福島県消防協会表彰受賞者の披露が行われました。

### 産業振興課

6月15日と7月7日、JA福島さくらふたば統括センターが主体となり「あぜみち指導会」を実施いたしました。延べ50人の参加者に対し、水稲栽培管理、病害虫防除対策、農作業中の安全管理等について説明を行いました。

7月8日、田村市において「昆虫の聖地協議会」設立総会及び発足式が開催されました。当協議会は原子力被災12市町村が発起人となり、多様な昆虫が生息していること自体に着目し、豊かな里山を守り、大切な観光資源として生かしながら市町村が連携して交流人口の拡大を目指すことなどを目的に設立され、本町を始め県内12市町村、宮崎県延岡市など県外から2市1町、合計15の自治体が参加しています。今後は昆虫に関する交流事業、里山保全や復興の情報発信などを実施します。

7月11日、広野小学校6年生全員参加により、ふる里広野町の自然を愛し、育てるために協力して社会に奉仕することを目的とした「広野町緑の少年団」の結団式を執り行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの結団式となりました。9月3日には、「未来へつなぐ希望の森林(もり)づくり」をコンセプトに南会津町で開催された「第6回ふくしま植樹祭」に緑の少年団2名が保護者と共に参加し、山桜やブナなど広葉樹の植樹や自然と共生する環境づくりとして緩衝帯整備のための育樹などを体験しました。

8月11日、国の「新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針」が廃止となったことを踏まえ、二ツ沼総合公園において真夏の祭典「広野町サマーフェスティバル2023」を飲食物のテント販売、ステージイベントなどを従来通り実施して開催しました。会場には、若松謙維参議院議員を始めとする多くのご来賓と町内外から訪れたおよそ10,000名の皆様が夜空を彩る4,000発の花火を堪能していただきました。

### 建設課

町道北釜・大谷地原線道路改良舗装工事につきましては、4月に契約した埋蔵文化財の本発掘調査が終了し、調



広野町サマーフェスティバル2023